

教育長報告

1 報告事項

平成17年第3回沖縄県議会(6月定例会)における質問・答弁概要について

2 事項の説明

- 平成17年6月21日に開会した平成17年第3回沖縄県議会(6月定例会)における代表質問、一般質問において主に次のような質問等があった。

主な質問事項

- (1) 教育基本法の改正について：池間淳
- (2) 義務教育費国庫負担制度の見直しについて：池間淳、瑞慶覧朝義
- (3) 義務教育課程における沖縄観光の取り扱い：國場幸之助
- (4) 若年者の雇用対策について：國場幸之助
- (5) 教職員評価制度について：國場幸之助、奥平一夫、瑞慶覧朝義、嘉陽宗儀
- (6) 不登校、中退者への対応について：狩俣信子、吉田勝廣
- (7) 本県の教育課題について：狩俣信子
- (8) 障害児の特別支援教育について：金城勉
- (9) 学校の安全対策について：金城勉
- (10) 学力調査について：仲田弘毅
- (11) 少子化に伴う学校の統廃合について：仲田弘毅
- (12) 全国高校総体の施設整備について：仲田弘毅
- (13) 市町村合併による学校現場に与える影響について：仲田弘毅
- (14) 中高一貫教育について：仲田弘毅、内間清六
- (15) 2学期制について：仲田弘毅
- (16) 県立高等学校の授業料未納及び授業料減免について：前田政明
- (17) 夜間中学について：平良長政
- (18) 教科書の沖縄戦記述問題について：平良長政
- (19) 沖縄戦におけるいわゆる「集団自決」について：玉城義和
- (20) 学校敷地内国有地の無償譲渡について：高嶺善伸、辻野ヒロ子
- (21) 平和教育の継承について：当山全弘
- (22) 海外旅行引率等の特別旅費について：新里米吉
- (23) 海浜スポーツの振興について：新里米吉
- (24) 沖縄戦と教科書問題について：外間久子
- (25) 志望校を増やす新しい入試制度について：吉田勝廣
- (26) 今後の学校経営・整備計画について：吉田勝廣

- (27) ミニスカート問題について：吉田勝廣
- (28) 性教育について：吉田勝廣
- (29) 進級規定の見直しについて：伊波常洋

このうち、「教職員評価制度について」「本県の教育課題について」「夜間中学について」「沖縄戦におけるいわゆる『集団自決』について」の答弁要旨は、次のとおりです。

教職員評価システムの導入について

質問要旨： 島尻地区市町村教育委員会への教職員評価システムの導入について。

答弁要旨： 教職員評価システムの円滑な導入を図るため、これまで各市町村教育委員会教育長及び県内各小・中・高等学校長に対して説明会を開催するとともに、全ての教職員に対してはリーフレットの配布等で趣旨の周知徹底を図ってきたところがあります。

6月17日には、沖縄県市町村教育長会の各地区代表との意見交換会を行い、同システムの理解を深めていただいたところでございます。

島尻地区教育長会に対しては、その趣旨の徹底を図るために再度説明会を開催して、平成18年度からの円滑な実施に努めていきたいと考えております。

本県の教育課題について

質問要旨： 本県の教育課題について。

答弁要旨： 本県においては「人材をもって資源となす」といわれ、その背景にある教育の重要性を深く認識しております。特に、学校教育においては、自ら学び考える教育を重視し、知・徳・体の調和のとれた自立した人間の育成が大事だと考えております。

そのため、一つには、本県教育の最重要課題である「学力向上対策」について、更なる展開を推進します。特に、本県における進路決定の遅さが課題になっており、小学校段階から勤労観・職業観を身につけさせるキャリア教育の充実を図ってまいります。

二つには「豊かな心」の育成を図るため、道徳教育の充実や体験活動、読書活動を推進するなど「子どもの居場所づくり」に取り組み、不登校や問題行動に適切に対応致します。

三つめに、「健康・体力」の保持増進については、体力・泳力向上事業や生き生き運動部活動事業等を推進し、生涯にわたって運動に親しみ健康で安全な生活を送るための基盤づくりに努めます。

これらのことを通して、沖縄に生まれ、育ち、現在及び将来において、自己実現が図られ、ウチナンチューで良かったといえるような教育を推進してまいります。

夜間中学について

質問要旨： 珊瑚舎スコーレ・夜間中学校について、県は出来る限りの支援策を講じるべきと思うがどうか。

答弁要旨： 学齢期を過ぎた義務教育未修了者の方々が「学ぶ場」としての「珊瑚舎スコーレ夜間中学校」については承知しております。

全国的な傾向として、夜間中学校へは日本語を勉強したい外国人、家庭の事情などで学校へ行けなかった方が、通っております。

実態調査については、必要性等を含め、今後検討していきたいと考えております。

なお、支援策を講じるための横断的チームにつきましては、関係部局と協議していきたいと考えております。

沖縄戦におけるいわゆる「集団自決」について

質問要旨： 沖縄戦におけるいわゆる「集団自決」は軍命ではなかったとする主張などが出てきているが見解はどうか。

答弁要旨： かつて編集しました県史において、証言記録が記述されていることは承知しております。現在、県教育委員会では新沖縄県史を編集しております。集団自決を含む沖縄戦の実相については様々な指摘がされており、今後とも新しい情報や資料などをふまえて、科学的・客観的な検証をしていくことが重要であると考えております。

○ 文教厚生委員会において以下の条例、議決事件及び陳情の審議が行われた。

条 例

乙第12号議案 沖縄県文化財保護条例等の一部を改正する条例 (原案可決)

議決事件

乙第13号議案 損害賠償請求事件の和解等について (可 決)

陳情新規2件

陳情第67号 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書採択に関する陳情 (継続審議)

陳情第71号 地方の財政力を強化し、義務教育費国庫負担制度を維持することについて国への意見書提出を求める陳情 (継続審議)

○ 米軍基地関係特別委員会において以下の付議事件及び陳情の審議が行われた

「在沖米空軍隊員による少女強制わいせつ事件について」

「名護市辺野古沖のボーリング調査について」